

#### 4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、平成23年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を各項目ごとにまとめた。

##### (1) 語彙力（【1】発音問題 正答率 65.4% 【2】語彙問題 正答率 46.4%）

ア 二重母音と短母音の区別を正しく理解していない。

イ 文脈や対話に応じて適切な表現を使うことができない。

##### (2) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率 68.8% 【4】文法・表現問題 正答率 47.9%）

ア 類似した意味をもつ前置詞の区別が曖昧な生徒が見られる。

イ 同じ内容を多様に表現することができない。

##### (3) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率 70.7%）

ア 基本的な会話表現や大まかな対話の展開については理解できている。

イ 語句が省略されている表現を適切に使用することが難しい。

##### (4) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率 65.7%）

助動詞を伴う間接疑問の語順が定着していない。

##### (5) 読解力（【7】長文読解問題 正答率 61.8%）

内容把握の手掛かりを直前の文や段落に求め、後に続く展開を考慮しないため、文全体の大意を理解することができない。

##### (6) 聞き取りの力（【8】聞き取り問題 正答率 60.0%）

会話の中で聞き取った内容を関連付けて理解することができない。